

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

今こそ子育て支援の拡充を！

都議会厚生委員会は陳情を不採択

39644筆の署名を添えて提出した、東京社保協の「子育て支援のため、子ども医療費無料化拡充と子どもの保険料軽減を求める」陳情が、9月26日の厚生委員会で審査され、当日は13人が委員会傍聴を行い審査を見守りました。

結果は、残念ながら共産党2人の賛成のみで陳情は不採択となりました。質疑に立った共産党和泉都議は、「子どもに保険料が賦課されている公的保険は国保だけだ。経済的に不安定な子育て世代を支援することは、子育て支援の中心的柱の一つ」「全国知事会も子ども保険料（均等割）の軽減の必要性を国の求めている、都知事も賛同している。子ども保険料軽減の必要性をどう考えるのか」などと質問を展開しました。

しかし、東京都は、低所得世帯に対しては法定軽減制度がある。子ども保険料については全国知事会を通じて国に要望している。との答弁に終始し、まともに質問に答えませんでした。

今回の陳情は残念ながら不採択になりましたが、厚生委員会での陳情採択に向けて、保険医協会と連携して、民進党都議団、共産党都議団、公明党都議団、かがやけ東京、都議会民進党、自民党都議など、この間

会うことも出来なかった共産党以外の党派と懇談・要請が実現できたことは大きな前進となりました。引き続き、次回都議会に向けて、子育て支援拡充に向けて取り組みを継続していきます。

都議会開会日行動

9月28日、第3回定例都議会開会日に都民連、東京社保協、東京地評の3団体共催で都庁前昼行動が行われました。

小池新知事が、初めて迎える都議会開会に向けて、主催者あいさつに立った東京地評の松森事務局長は、「築地市場の移転問題や東京五輪、保育・介護の問題など、問われることの多い今議会で、都民のための都政に転換させるため、運動を強め、議会に働きかけ、都政を変えていこう」と呼びかけました。



戦争法1年、9.19国会包囲行動

安倍政権による戦争法（安保関連法）の強行から1年となった9月19日、「戦争法を絶対廃止に」と総がかり行動実行委員会が呼びかけた国会正門前行動には2万3000人が参加し国会を包囲しました。

あいにくの雨の中、実行委員会を代表して高田健さん（解釈で憲法9条を壊すな実行委員会）、小田川義和さん（憲法共同センター）があいさつしました。

また、安全保障関連法に反対する学者の会や安保関連法に反対するママの会、日本・東京弁護士連合会などの代表が連帯あいさつを行いました。



各地域・団体の取り組み

渋谷社保協

渋谷社保協は、8月25日に第25回総会を開催し、51人が参加しました。総会では、福井会長のあいさつに続き、東京社保協相川事務局次長・共産党区議団から連帯のあいさつをうけました。

嘉瀬事務局長が、活動総括・方針を提案し、毎区議会への請願活動やなんでも相談会の継続的開催、区担当者呼んでの「地域支援事業」の説明会の開催など1年間の活動を振り返りました。

方針では、地域で介護・医療・社会保障改悪を許さないために、これまでの取り組みを強化しながら、命と暮らしを守るために奮闘することを提起しました。

討論では、代々木法律事務所
所の林弁護士が「生産能力の



低い人間は、切り捨ててよいという発想を、社会保障を守る運動を発展させて克服しよう」と発言。年金者組合や区労連、土建渋谷支部、健康友の会、広尾病院を守る会からこの間の取り組み報告がありました。

総会の最後に、総括・方針、予算・役員体制などを承認し、「戦争法を廃止し、社会保障改悪を許さないたたかいを発展させよう」の特別決議を採択しました。

第2部の記念講演では、全日本民医連の林泰則事務局次長を講師に、「介護保険はどうなるか」と題する学習会を行いました。

(渋谷社保協ニュースより)

八王子社保協

八王子社保協は、9月25日に「無料なんでも相談会」を八王子労政会館で開催し、法律相談や医療・介護相談、歯科、税金、年金、生活保護相談などのべ23人が相談に訪れ、八王子社保協加盟団体の7人の専門家が相談に乗りました。

来場者は、この相談会を掲載してくれたタウン誌「シヨツパー」が配布されている八王子地域と日野市、八王子駅での駅頭宣伝でのチラシ配布で案内を受け取った方が相談にみえました。

今後の課題として、市内全域から集まりやすい公的な場所で開催することや、複数のタウン誌に掲載を依頼することから、弁護士などの専門家の参加などの対策が必要なことなどが明らかになりました。

(社保協ニュースより)

町田社保協

者要求を町田市に提出し、8月18日の懇談会で回答が示されました。主な回答内容は以下の通りです。

①健康診査費用を無料にすること。(回答) 皆様に健康を意識して頂くために有料としている。②来年も国保税

(料)を引き上げるのか。(回答) 今年も20%引き上げたが、それでも一般会計からの繰り入れ解消に至らないので、毎年税率の見直しを行う。

(なお、同時期に開催された国保運営協議会で平均4・58%の値上げ案が諮問された)

③昨年度は国保特別調整交付金が1億2千万円交付されたが、その内容は(回答) 資格証明書交付世帯は滞納世帯の26・8%超(26市平均3・2%)、差押えは632件(滞納世帯比8・45%)でその内訳の殆どが預貯金。この交付金を低所得者等の保険料軽減にと要望したが、回答はなかった。

この懇談会には、町田社保協をはじめ年金者組合や守る会、新婦人、町田地区労などから16人が参加しました。

(町田社保協通信より)

特養ホームの建設を 求める清瀬の会

清瀬市の特養ホームの待機者は、現在443人となっています。市は「第6期介護保険事業計画」の中で、小規模特養ホームを1施設（定員29人）建設する計画となっています。

9月市議会で、共産党深澤市議の質問に対して、市は「東京都から中里団地内の候補地選定を急ぐよう打診があったが、手をあげる社会福祉法人が無いので、第6期中の建設は無理かもしれない」との答弁がありました。

特養ホームの建設は待ったなしの課題であり、介護保険事業計画というのは市民との約束ごとです。高齢者は「長生きするな」ということでしょうか。

こうした状況をふまえ、清瀬社保協も参加して「特養ホームの建設を求める清瀬の会」を結成し、清瀬市との交渉や運動を行うことになりました。

当面、介護に悩んでいる家族や、特養ホームの入所を待っている方などを対象に、500枚の回収を目標に、「介護問題に関するアンケート」を実施していくことになりました。（8月末で68人の方から回答）あわせて、市内に5ヶ所ある特養ホームの見学会の開催やサービス付き高齢者住宅（サ高住）の見学なども行っています。

（特養ホームを求める会ニュースより）

10.20国民集会

日時 10月20日(木)13:00~

会場 日比谷野外音楽堂

内容 集会:13:00~14:20
パレード:14:30~
ゲスト:藤田孝典氏
(NPO法人はっとプラス代表理事)

主催: 10, 20集会実行委員会

介護全国学習交流集会

日時 11月6日(日)12時~

会場 BIZ新宿(西新宿)

内容 学習交流集会:12:00~
街宣アクション:16:00~
講演:河合克義氏
(明治学院大学教授)

主催: 全国交流集会実行委員会

介護・認知症なんでも電話相談

日時

11月11日(金)10時~18時

電話

0120-380110

**主催・中央社保協
認知症の人と家族の会**



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
*ホームページからも注文できます



第45回東京社保学校 **開催のご案内**

秋からのたたかいに向けて知を力に



日時

2016年10月16日(日)
午前10時開会～午後4時半(9時半開場)

会場

けんせつプラザ東京
(東京土建本部会館・裏面地図参照)

講演

①参議院選挙・東京都知事選挙の結果と今後の運動 10時～
渡辺 治氏・一橋大学名誉教授

②医療現場から見える地域医療の現状 13時半～
竹崎 三立氏・医師(東京社保協会会長)

取組報告

①なんでも相談会の取り組み 14時半～
②都営住宅相談会の取り組み
③無料低額診療の取り組み

※資料代・500円(当日ご持参ください) ※昼食は各自でお願いします



第45回東京社保学校 参加申込書 2016年 月 日

締め切りは10月12日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。FAX 03-3946-6823
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel.03-5395-3165)